

【事例 H29-27】香川県

かかりつけ医メンタルヘルス対策研修事業

【概要】香川県医師会に委託して実施。うつ病等の精神疾患は、精神症状以外に身体症状が出ることも多く、内科医等のかかりつけ医を初めに受診することが多いことから、かかりつけ医やその連携先である看護師、保健師、臨床心理士等が、適切なうつ病診療の知識・技術及び精神科等の専門医師との連携方法、家族からの話や悩みを聴く姿勢等を習得することを目的とした事業。また、研修会に併せてかかりつけ医から精神科医への紹介状様式や精神科医療機関のリストをまとめた連携ツールを作成し、配布している。

【大綱の分類】

4. 自殺対策に係る人材の確保、養成及び資質の向上を図る
2. 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す
5. 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進する
6. 適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする
10. 民間団体との連携を強化する

【政策パッケージ分類】

基本 1. 地域におけるネットワークの強化

基本 2-1) さまざまな職種を対象とする研修

【事業実施年度】2018 年度事例（2008 年度～2018 年度）

【事業予算】752,080 円（2018 年度）

【利 点】

- ▼ 内科医等のかかりつけ医が、精神疾患に関する正しい知識を持つことで、早期発見・早期治療につながりやすくなる。
- ▼ 研修会を通じて、精神科医と内科医等のかかりつけ医が繋がりを持つことで、顔の見える関係を築くことができる。

【実施に至るまで】

かかりつけ医を対象にする理由

- ① かかりつけ医は、診察や問診の中で、患者の変化に気づきやすい立場にある。
- ② 変化に気づいた際、紹介状等でスムーズに精神科医へつなぐことができる。
- ③ 精神科医へつなぐほどではなくとも、研修会で得た知識を使って、患者に声かけができる。

計画を立てる上での工夫

- ① 事前に研修会の企画委員会（年 1 回）を開催し、委員である精神科医や医師会からどのようなテーマなら関心をもって受講してもらえるかを議論した。
- ② 開催時期を、比較的予定が空いていることが多い 1 月上旬にすることで、なるべく多くの医師が参加できるようにした。

- ③ 研修会に日本医師会生涯教育講座や日医かかりつけ医機能研修制度応用研修該当単位を付与することで、医師が参加することについて、メリットがあるようにした。

事業の具体的な内容

- ▼ **かかりつけ医うつ病対応力向上研修企画委員会の開催（1回）**
 - ・香川県医師会や精神科医を含む5名の委員との研修会企画委員会を開催し、研修会のカリキュラム、登壇する講師、時間配分、開催時期等について議論した。
- ▼ **連携ツールの更新**
 - ・連携ツール（精神科医への紹介状様式や精神科医療機関のリストをまとめた冊子）の時点更新を行う。
 - ・各医療機関に、一覧を確認してもらい、変更があれば加筆・修正を行う。
- ▼ **研修会の開催（2018年度）**
 - ・「自殺予防と地域連携」 30分 精神保健福祉センター所長
 - ・「うつ病の基礎・診断と治療」 60分 大学教授
 - ・「うつ病患者の自動車運転～法規上および内服薬との関連～」 30分 精神科医
 - ・「ストレスに関連する身体・機能的疾患の評価と対応」 60分 大学教授

【成果】

- ▼ 2018年度受講者数：67名
- ▼ 事後アンケートでも、うつ病の基礎、治療についての内容がすごく勉強になったとの声があった。
- ▼ 研修会に併せて連携ツールを配布し、県内の精神科医療機関一覧の広報を行うことができた。

○研修会受講者数

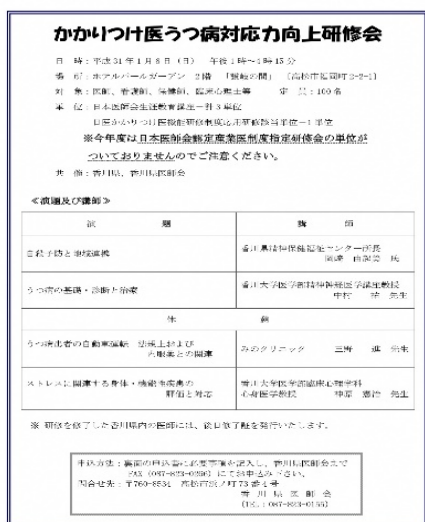
年度	受講者数
2015年度	医師 110名、コメディカル等 27名
2016年度	医師 113名、コメディカル等 19名
2017年度	医師 95名、コメディカル等 17名
2018年度	医師 51名、コメディカル等 16名

○アンケート内容（抜粋）

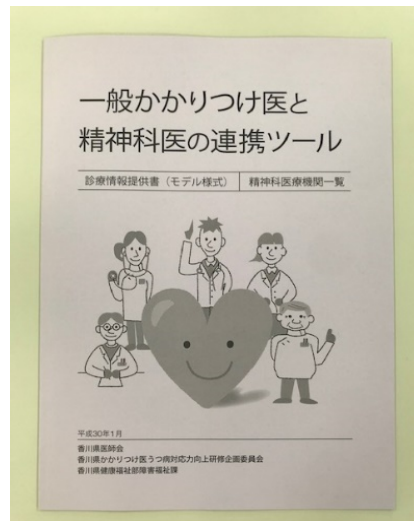
- ・ストレスプロフィールは興味深かった。心理学の悪用や最近の専門知識の悪用ではなく、患者さんにとってよいことに使用されることを願っています。ありがとうございました。
- ・学生の時心理学でユング・フロイト等は学んだが、臨床心理は全くの別物について行けなかった。過敏性腸症候群、線維筋痛症等知っている疾患も出てきているので、ついて行けるようにしなければならないと思った。
- ・心身症分野はこれまでマイナーな領域と思っていたが、日常臨床では大変重要な医学医療分野と考えます。したがって、今後も心身症の講演を是非増やしてほしい。

【補足】

○案内チラシ



○連携ツール



【課 題】

- ▼ かかりつけ医と精神科医の具体的な連携事例。
- ▼ 医師以外（保健師や臨床心理士）にも分かりやすい講義、内容。
- ▼ 関心度が高い演題とその講師の確保。

【事業種別】	人材育成事業
【準備期間】	210日
【人 数】	1人
【人口規模】	961,900人（2018年10月1日時点）
【財政規模】	259,165,008,000円
【自治体負担率】	50%
【事業対象】	県内の内科医等のかかりつけ医、看護師、保健師、臨床心理士等
【支援対象】	県内の内科医等のかかりつけ医、看護師、保健師、臨床心理士等
【委託の有無】	有（香川県医師会）
【実施主体・問合せ先】	香川県健康福祉部障害福祉課 TEL：087（832）3291 Mail：shogai-fukushi@pref.kagawa.lg.jp